

植物観察再入門

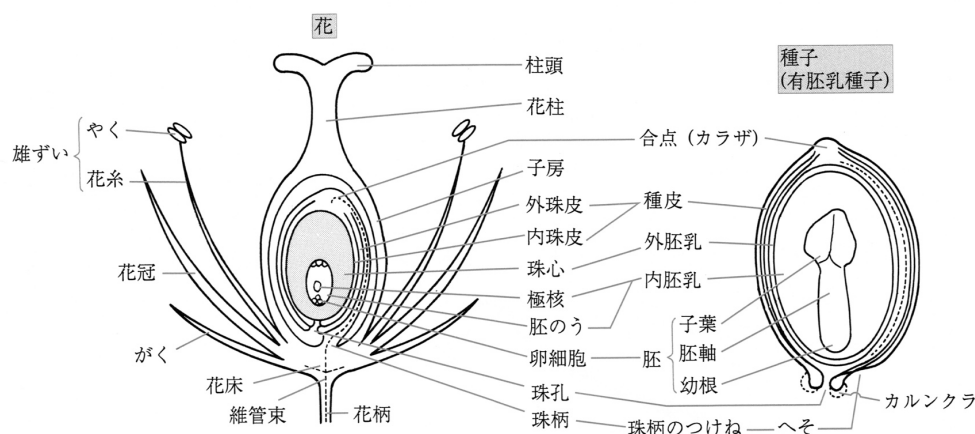
～果実について～

東京理科大学薬学部 和田 浩志

1. 「果実」とは？

子房あるいは子房とそれ以外の花の器官がともに成熟したもの。

被子植物に特有で、裸子植物には存在しない。



『薬用植物学』 (改定第7版), 西岡五夫編著 (廣川書店), 2015年より引用

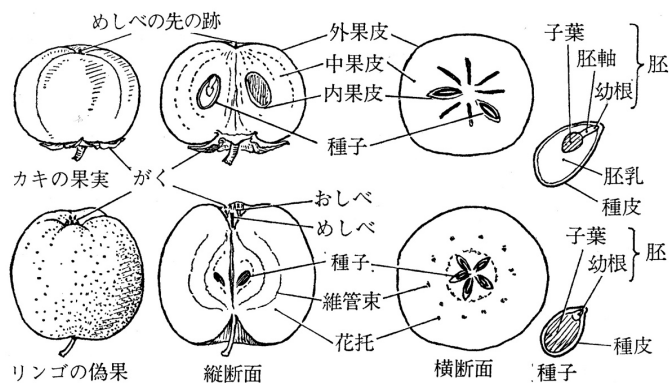
2. 果実と種子を見分けるには？

- ・マツの実
- ・ソテツの実
- ・イチョウの実 (ギンナン)
- ・イチイの実
- ・シイの実
- ・ソバの実
- ・ハスの実
- ・トチの実
- ・ヒマワリの種
- ・カボチャの種
- ・イチゴの種
- ・梅干しの種
- ・モモの種

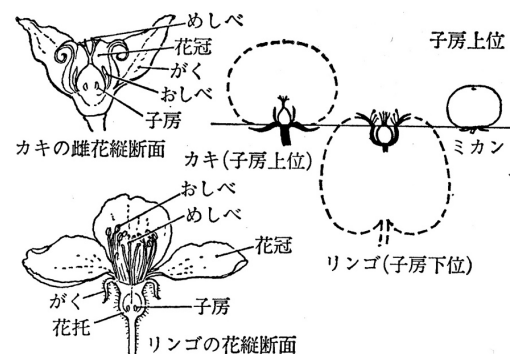
2. 真正果実（真果）と偽果

真果：子房が成熟したもの。

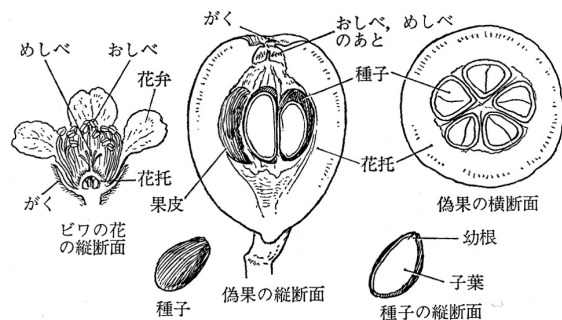
偽果：子房以外の部分（花床、がく、総苞など）が発達して全体が果実のように見えるものや、複数の子房が集まってあたかも1つの果実のように見えるもの。



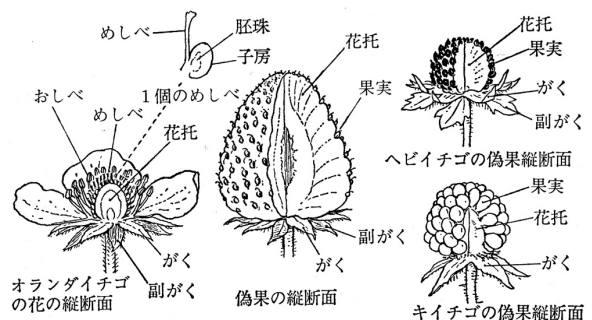
カキとリンゴの果実



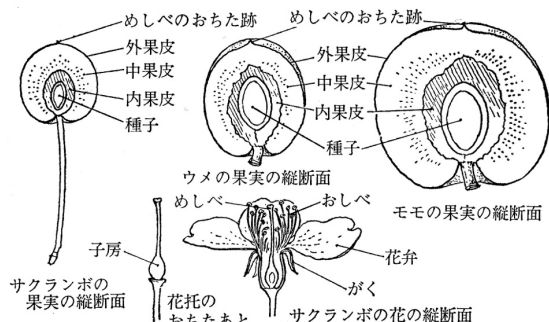
カキとリンゴの花と子房の位置



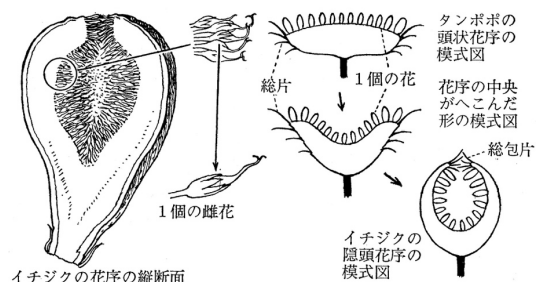
ビワの果実



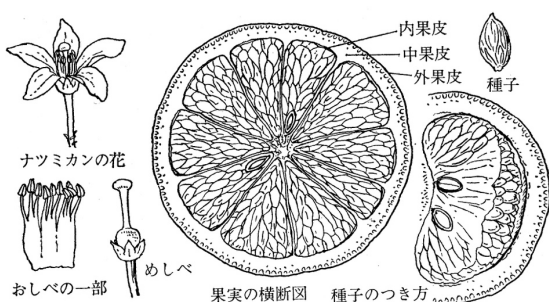
イチゴ類の偽果と真果



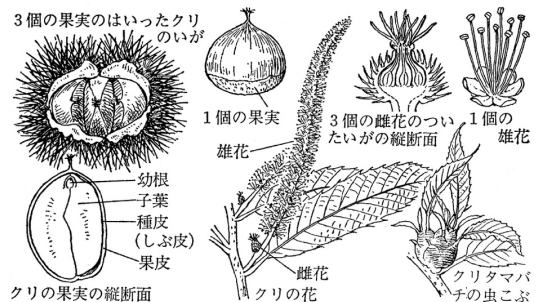
サクランボの果実



イチゴの果実



ミカン類の果実



クリの果実

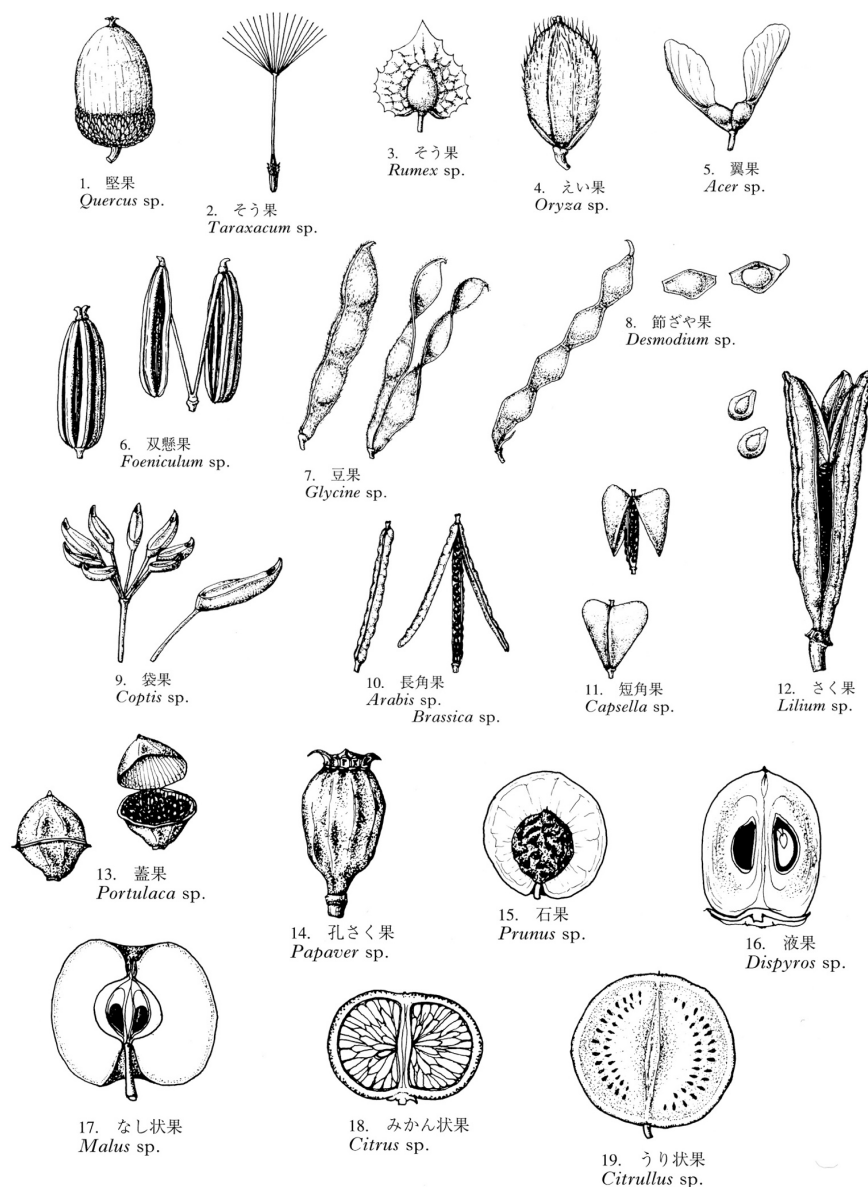
『果物と野菜の観察』 牧野晩成著（ニューサイエンス社），1979年より引用

[偽果由来の生薬例]

- ・エイジツ (営実) : ノイバラ *Rosa multiflora* Thunberg (バラ科) の偽果又は果実
- ・サンザシ (山査子) : サンザシ *Crataegus cuneata* Siebold et Zucc. またはオオミサンザシ *C. pinnatifida* Bunge var. *major* N.E.Brown (バラ科) の偽果
- ・サンシュユ (山茱萸) *Cornus officinalis* Siebold et Zucc. (ミズキ科) の偽果の果肉

3. 特徴ある果実例

- ・核果 (石果) : 内果皮が木質化して堅くなった果実。(例) ウメ, モモ, アンズ, サクラ
- ・双懸果 : 2心皮2室からなる1つの果実が縦に2つに分離しぶら下がるもの。(例) セリ科植物
- ・瘦果 : 1心皮1種子で果皮が薄く、種子のようにみえる。(例) キク科植物
- ・袋果 : 1心皮からなり、腹側から裂開するもの。(例) キンボウゲ科、シキミ科、ボタン科植物
- ・豆果 : 1心皮からなり、背腹両側から裂開するもの。(例) マメ科植物



1~6 : 閉果, 7~14 : 裂開果, 15~19 : 湿果.

1. コナラ属, 2. タンポポ属, 3. ギシギシ属, 4. イネ属, 5. カエデ属, 6. ウイキョウ属, 7. ダイズ属, 8. スビトハギ属, 9. オウレン属, 10. ハタザオ属, アブラナ属, 11. ナズナ属, 12. ユリ属, 13. スペリヒユ属, 14. ケシ属, 15. サクラ属, 16. カキノキ属, 17. リンゴ属, 18. ミカン属, 19. スイカ属.

『薬用植物学』 (改定第7版), 西岡五夫編著 (廣川書店), 2015年より引用

[講師略歴]

和田 浩志（わだ ひろし）

学歴：1978（昭和53）年3月 東京理科大学薬学部薬学科卒業

1980（昭和55）年3月 東京理科大学大学院薬学研究科修士課程修了

職歴：1980（昭和55）年4月 津村順天堂〔現（株）ツムラ〕入社，
津村研究所生薬研究部資源開発課勤務

1983（昭和58）年4月 東京理科大学薬学部製薬学科 助手

1998（平成10）年4月 獨協大学 非常勤講師（兼職）2006年3月まで

2006（平成18）年4月 東京理科大学薬学部薬学科 講師

2016（平成28）年4月 東京理科大学薬学部薬学科 准教授 現在に至る

2019（令和元）年4月 昭和薬科大学非常勤講師 現在に至る

資格：1978（昭和53）年10月 薬剤師免許取得

1988（昭和63）年11月 学位（薬学博士）取得

専門分野：資源植物化学

〔現在の主なテーマ〕

- ・「薬用植物の栽培に関する研究」
- ・「抗炎症作用を有する植物成分の開発」
- ・「民間薬及び薬用植物の有用性に関する研究」